

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	19-2	
PDCA	主要事業名		がん検診等推進事業		部課名		福祉部健康課			担当	木村	
											内線	358
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 1 単位施策： 健康づくり											
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 61,713 千円											
	会計		一般会計			歳出科目： 04.01.01.04.50						
	事業概要等		事業概要： 健康増進法に基づき、健康の保持、がんの早期発見及び早期治療を目的に、各種がん検診を実施する。									
			事業目的： がん検診を実施し、がんの早期発見・早期治療により健康寿命の延伸を図る。									
			事業内容： 対象年齢の市民に対し市内医療機関において 2 1 項目のがん検診を実施するとともに、受診勧奨を実施し、受診率向上を図る。									
			問題点・課題等： がん検診受診率のさらなる向上。									
	予算額		主要事業とする理由									
	61,713 千円		検診の受診により、がんの早期発見・早期治療が可能となり、市民の健康寿命の延伸を図ることができるため。									
	財源内訳		得られる成果									
市費		検診を受けることで、早期発見、早期治療が可能となり、健康寿命の延伸につなげることができる。										
59,673 千円												
国費												
789 千円												
県費												
1,251 千円												
その他												
0 千円												
D 実績得られた成果と	決算額		得られた成果									
	61,376 千円		日本人のがん死亡率の第 1 位となっている肺がんの検診受診率向上を目指し、肺がん検診の受診啓発ポスターを作成し医療機関等で掲示するとともに、国保特定健診との同時受診を勧奨し、肺がんの早期発見・早期治療につながった。									
			成果指標									
							令和 4 年度		単位			
			肺がん検診受診率		実績値		18.4		%			
					目標値		18.0		%			
			大腸がん検診受診率		実績値		29.1		%			
					目標値		39.0		%			
			乳がん検診（マンモグラフィ）受診率		実績値		18.3		%			
					目標値		20.0		%			
C 課題の整理	事業の評価・課題		C 肺がん検診は、自己負担金の無料化や特定健診との同時受診の勧奨により、目標を達成した。 乳がん検診は、個別勧奨の内容を工夫したことにより、受診率が向上した。 国保特定健診や協会けんぽ愛知支部と連携し、対象者へがん検診案内を送付するとともに、国保特定健診や協会けんぽとの合同検診を実施したことにより受診促進につながった。 5 大がん（肺・大腸・胃・乳・子宮頸）検診の個別勧奨を実施したことにより受診促進につながった。									
A 課題解決の方向性	今後の事業の方向性		改善推進 ・胃がん検診において、検診希望者の状況に応じた方法が選択できるよう、新たに胃内視鏡検査を導入する。 ・がん検診の受診勧奨について、ナッジ理論等を用いるなど、内容を工夫する。									
観点別評価			必要性		有効性			効率性				
			①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 大きい			⑦コスト削減 余地 ない				
			②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある			⑧受益者負担適正化余地 ない				
			③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない							